



TITLE:

# 表紙 (泌尿器科紀要 第33巻第1号) 購読要項・投稿規定

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙 (泌尿器科紀要 第33巻第1号) 購読要項・投稿規定. 泌尿器科紀要  
1987, 33(1): 170-170

ISSUE DATE:

1987-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/119001>

RIGHT:

泌 尿 紀 要

Acta Urol. Jpn.

Vol. 33, No. 1 ACTA UROLOGICA JAPONICA January 1987

# 泌 尿 器 科 紀 要

第 33 巻 第 1 号 1987 年 1 月

## 腎細胞癌化学療法の *in vitro* での実験的研究

1. 細胞回転からみた各種制癌剤の併用効果について……………神波 照夫… 1
  2. 細胞回転からみたインターフェロンと制癌剤との併用効果……………神波 照夫… 15
- マウスにおける N-Butyl-N-(4-hydroxybutyl)nitrosamine 膀胱発癌に  
対する  $\alpha$ -Difluoromethylornithine の抑制効果 (英文)……………川原 昌己・ほか… 27
- Descent of right renal vein 法により尿路再建を  
施行した1治験例……………小野 佳成・ほか… 31
- 下大静脈腫瘍塞栓を伴う腎癌の切除術の経験:  
体外循環, 肝の剝離脱転による手術手技の検討……………実藤 健・ほか… 35
- 腎杯直接穿刺による回腸導管症例の細菌学的検討  
(上部尿路感染症の新診断法)……………滝 洋二・ほか… 43
- PVB 療法による進行巣丸腫瘍の治療成績……………村瀬 達良・ほか… 47
- 特異性男子不妊症に対する HCG-HMG 併用療法について……………水谷 雅己・ほか… 51
- 尿路外傷 114 例の統計ならびに臨床的観察……………鈴木 信行・ほか… 55
- 恥骨上前立腺摘除術の手術成績……………米田 文男・ほか… 65
- 食道癌の腎転移症例……………林田 英資・ほか… 69
- VUR, 神経因性膀胱に合併した単腎性骨盤腎の1例……………滝内 秀和・ほか… 75
- 完全重複腎盂尿管に合併せる尿管瘤の2例……………打林 忠雄・ほか… 79
- 気管支喘息と交代現象を示した間質性膀胱炎の1例……………山田 哲夫・ほか… 85
- 後部尿道に発生した Inverted papilloma の1例……………長谷川総一郎・ほか… 91
- 女子尿道に原発した悪性黒色腫の1例……………梶川 博司・ほか… 97
- 限局性尿道アミロイドーシスの1例……………小川 隆敏・ほか… 101
- 形質細胞への分化を示した巣丸悪性リンパ腫の1例……………清田 浩・ほか… 107
- 巣丸悪性リンパ腫の2例……………矢野 正憲・ほか… 113
- 前立腺平滑筋肉腫の1例……………奥野 博・ほか… 117
- 排尿障害を示した von Recklinghausen 氏病の4例……………水尾 敏之・ほか… 125
- 精索脂肪腫の1例……………小出 卓也・ほか… 133
- 陰囊内に発生した硬化性脂肪肉芽腫の1例……………吉田 全範・ほか… 137
- 前立腺癌に対する徐放型 LH-RH analogue. ICI 118630  
(Zoladex®) の臨床効果……………宇佐美道之・ほか… 141
- 乏精子症に対する methylcobalamin 大量療法の  
有用性に関する研究……………森山 浩之・ほか… 151
- 淋菌感染症の疫学的・治療学的研究  
—Spectinomycin による One shot 療法の検討—……………酒井 茂・ほか… 157

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M. D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,

Kyoto University, Kyoto Japan 606

京都大学医学部泌尿器科学教室

## 購 読 要 項 (1986年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料8,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部宛、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

## 投 稿 規 定 (1986年1月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、そのほかで和文または英文とする。
  - (1) 普通論文の長さは、原則として、刷上り本文5頁(400字×20枚程度)、図(Fig.)10枚、表(Table)10枚までとする。
  - (2) 和文原稿はB5版400字詰原稿用紙横書き、楷書(ワープロ可)、当用漢字、現代かなづかい、平がなとし、清書する。年号は西暦とする。文中欧語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め、タイプ(手書き不可)する。
  - (4) 原稿の表紙に標題、所属機関名、主任名、著者名の順に和文で併記する。下段に筆頭著者名と、2語からなる running title を付す。  
例：山田・ほか：前立腺がん・PSAP
  - (5) 英文抄録：和文の表紙、本文とは別に標題、著者名、所属機関名、主任名、5語(英文)以内の Key words、抄録本文の順にB5版ダブルスペースでタイプし、別にその和訳をつける。
  - (3) 英文原稿はダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、主任名、Key words(和文に準ず)、running title(和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、主任名、抄録の順に記した和文抄録を付す
  - (4) 数字はすべて算用数字を使用し、単位 m, cm, mm, l, ml, kg, g, mg,  $\mu$ g, %,  $^{\circ}$ C などとする。
  - (5) 和文、英文原稿を問わず図、表、写真などは各々台紙に添付し、それらに対する説明文は別紙に一括して Fig. 1 ..., Fig. 2 ..., Table 3 ... などと記載する。説明文は英文が望ましい。原稿右欄外に挿入するべき位置を明示する。写真はトリ
3. 掲載
  - (1) 論文の掲載は採用順とする。迅速掲載には迅速掲載料を要する。
  - (2) 紙代、印刷費、製本代は編集部で負担する。残額を実費負担とし、請求は論文掲載誌発行後に行なう。論文の長さが超過した場合、超過料を別途に申し受ける。
  - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機具の使用などに関する研究論文については、掲載料を別途に申し受ける。
4. 別刷：実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。
 

ミシングし、図・表は誤りのないことを確認のうえ、トレースして紙焼したもの(コピー不可)。様式については本誌の図・表を参照する。

(6) 引用文献は必要最少限にとどめ、引用箇所を本文中に入れる。その数は30までが望ましい。和文は楷書で、欧文はタイプする。

(例：山田<sup>1,3,7)</sup>、田中ら<sup>1,3-10)</sup>によると)

雑誌の場合—著者名(全員)：題名、雑誌名  
巻：最初頁～最終頁、発行年

単行本の場合—著者名(全員)：題名、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年

(7) 原稿を返却しないのでコピーを手元に残しオリジナルを書留で〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京大病院泌尿器科紀要編集部宛送付する。

(8) 投稿原稿は編集委員会においてその採否を決定し、それに従って編集部は原稿の訂正、書き直しまたは返却を指定する権限を保持する。

(9) 校正は初校を著者による責任校正とし、再校以降は編集部が行なう。著者複数の場合校正責任者を投稿時指定する。

宮崎 重 新谷 浩  
吉田 修(主 幹)

編集委員：石神 襄次  
園田 孝夫

前川 正信  
友吉 唯夫

宮崎 重 新谷 浩  
吉田 修(主 幹)

泌尿器科紀要 第33巻 第1号 1987年1月25日 印刷 1987年1月31日 発行

発行 吉田 修 顧問 加藤 篤二 発行所 泌尿器科紀要刊行会

〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話(075)751-3327(直通)

印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入